

種別	症状	原因	処置
柱式	上昇しない(モーター回らない)	電源コード接続不良、断線	コード接続状態、断線の有無チェック
		マグネットスイッチのサーマルが作動	原因を調べてリセットボタンを押す。※2
		1次側ブレーカーが切れている	1次側ブレーカーを入れる ※1
		安全スイッチがOFF	スイッチ操作でON
	上昇しない(モーター回る)	作動油不足	作動油の補充
		モーターが逆回転している	電源コードのRとTを入れかえる
		オーバーロード	正常です。能力以上の車は上がりません。
	自然降下する	1mm／10min以下の自然降下	許容範囲内、正常です
		配管よりオイル漏れ	配管増し締め
		シリンダーよりオイル漏れ	シリンダーパッキンの交換
		規定以上の自然降下	下降弁Oリングの交換
	上昇スピードが遅い	オーバーロード	能力ギリギリの車です。車両重量を確認して下さい
	異音がする	オイル(作動油)不足	オイルの補充
		ポストの摺動面のグリス切れ	指定箇所への給油脂
		チェーンホイールのグリス切れ	指定箇所への給油脂
		配管の固定不良	配管の固定カバーの固定
		カバーの固定不良	カバーの固定
		チェーンより摩擦音	給油またはチェーン交換(P18注意内容参照)
	下降が遅い	自然環境(冬期)による油圧作動油の温度低下	車両をリフトアップし、上昇・下降操作を何度か行って下さい。 (油圧作動油の温度が上がりますと通常の数値になります。)
		自然環境(冬期)による作動油の温度低下	車をリフトアップし、上昇・下降操作を何度か行って下さい。 (作動油の温度が上がりますと通常の数値になります。)
	リフトが下降しない	自然環境(冬期)による油圧作動油の極端な温度低下によりヒューズバルブが作動してしまう。	一端、上昇させた後、操作レバーを下降側に少し開けて下降させて下さい。 (油圧作動油の温度が上がりますとリフトが停止することはなくなります。)
		自然環境(冬期)による作動油の極端な温度低下のため、ヒューズバルブが作動してしまう。	一端、上昇させた後、操作レバーを少しだけ傾けて下降させて下さい。 (作動油の温度が上がりますとリフトが停止することはなくなります。)

※掲載している図及び名称は異なる場合がございます。
詳細は機器に備え付けられている説明書をご参照ください。

※1 ブレーカー

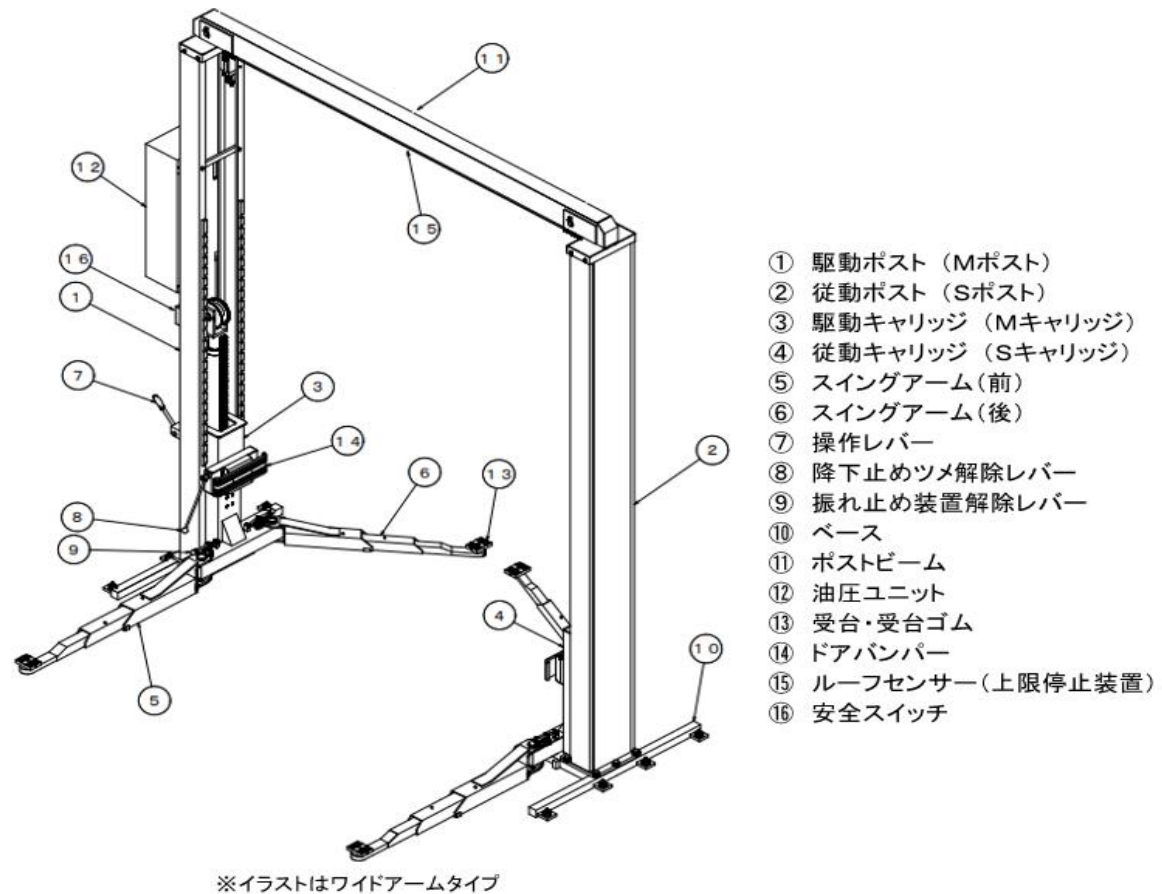
1次側ブレーカースイッチ例



※2 マグネットスイッチ



各部名称



各部給油箇所

